

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「ラップ・アプローチ（成長コース）」は、このたび、第17期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に内外の株式、債券および不動産投資信託証券を投資対象資産として分散投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第17期末(2023年10月18日)

基準価額	13,860円
純資産総額	1,023百万円
第17期	
騰落率	10.0%
分配金(税引前)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

ラップ・アプローチ (成長コース)

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2023年4月19日～2023年10月18日

交付運用報告書

第17期(決算日 2023年10月18日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

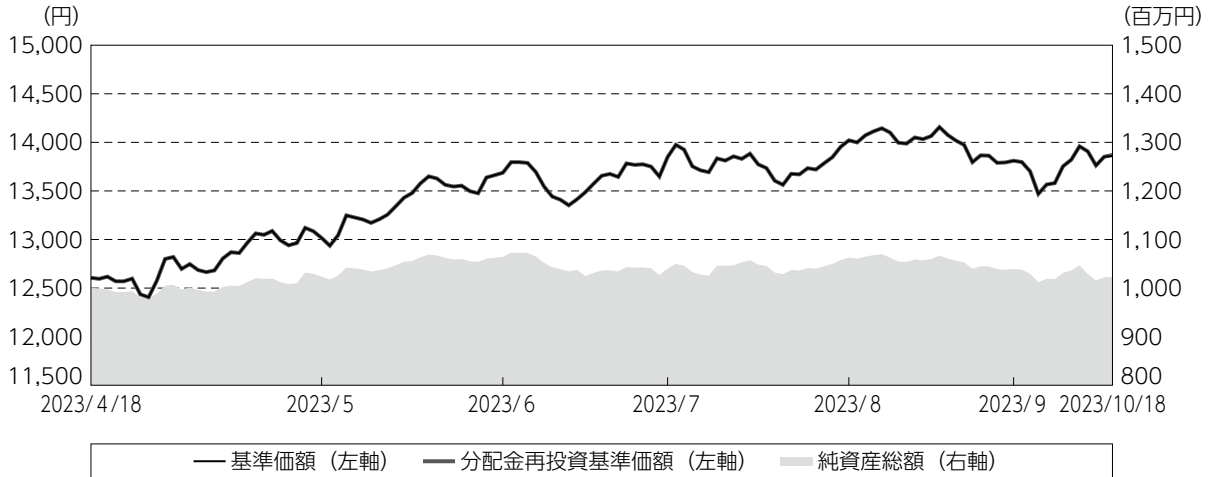
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたしました。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年4月19日～2023年10月18日)



期首：12,606円

期末：13,860円（既払分配金（税引前）：10円）

騰落率：10.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年4月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期間においては、シュローダー先進外国株式ファンド（適格機関投資家専用）や日本連続増配成長株マザーファンドなどが基準価額に対してプラスに作用しました。その結果、当期間中の当ファンドの基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

（2023年 4 月19日～2023年10月18日）

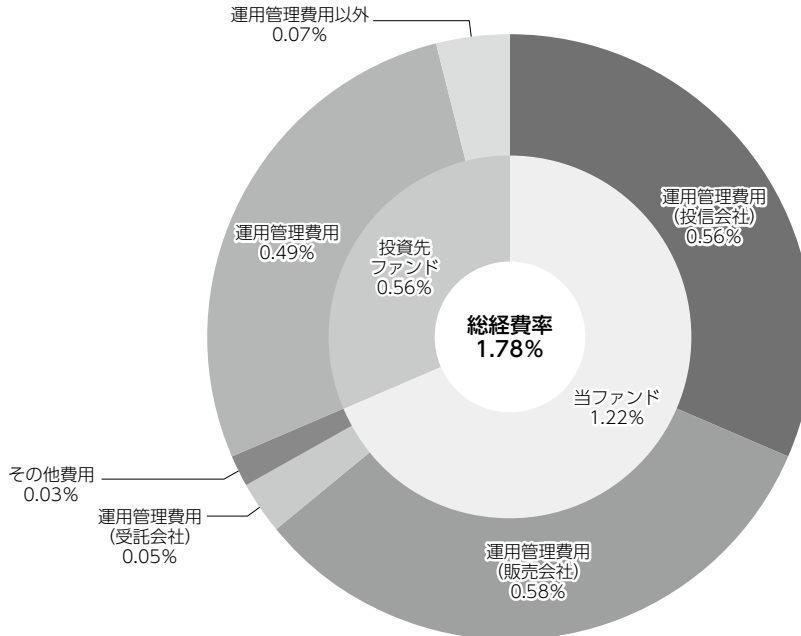
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 81 (38) (39) (4)	% 0.599 (0.281) (0.291) (0.027)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	7 (6) (0)	0.050 (0.046) (0.003)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (1) (1) (0)	0.014 (0.008) (0.007) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	90	0.663	
期中の平均基準価額は、13,493円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.78
①当ファンドの費用の比率	1.22
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年10月18日～2023年10月18日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年10月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年10月18日 期初	2019年10月18日 決算日	2020年10月19日 決算日	2021年10月18日 決算日	2022年10月18日 決算日	2023年10月18日 決算日
基準価額 (円)	10,530	10,472	10,219	12,683	12,394	13,860
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	20	10	20	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.4	△ 2.3	24.3	△ 2.1	12.0
純資産総額 (百万円)	2,245	1,361	1,187	1,268	1,018	1,023

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、各投資信託証券への配分比率を定期的に見直すことを基本とします。そのため、当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

投資環境

（2023年4月19日～2023年10月18日）

※新興国を除く、世界の市場については代表として米国を記載しています。

日本の株式市場は上昇しました。欧米の金融不安が落ち着き、日銀の植田新総裁が金融緩和継続姿勢を示したことや、米著名投資家が日本株への追加投資意向を示したことなどが好感され、大きく上昇しました。2023年5月以降は、海外投資家を中心とした資金流入により、上昇基調が継続しました。期末にかけては日米長期金利の上昇などを受け、調整する展開となりました。

米国の株式市場は上昇しました。2023年5月までは上値の重い展開が続きましたが、債務上限問題の解決や米国経済のソフトランディング期待の高まりを背景に投資家心理が改善し、7月にかけて堅調に推移しました。その後、金利上昇局面が続くととの観測が広がり下落する場面も見られたものの、10月に入ると小幅に上昇して期末を迎えました。

新興国の株式市場は、中国で引き続き消費の回復など経済活動の再開が確認されたことや、米国の債務上限問題の解決および堅調な経済指標などが支援材料となり、2023年7月末までは変動を伴いながらも緩やかな上昇基調を辿りました。その後は、米国を中心に政策金利が高止まりするととの懸念が広がったことや、中国の景気減速への警戒感が強まったことなどが重石となり、期末にかけて下落基調で推移しました。

国内の債券市場は、全般に利回りが上昇（債券価格が下落）しました。日銀が金融政策の正常化に向けて、長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）の運用を柔軟化したことなどから、長期ゾーンの利回りが大幅に上昇しました。また、欧米主要国の長期金利上昇も債券の売りを促し、利回りの上昇要因となりました。ただ、日銀はマイナス金利政策については変更なく継続したこともあり、短期ゾーンの利回りは、小幅な変動に止まりました。

米国の債券市場は、全般に利回りが上昇（債券価格が下落）しました。米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締めを背景に、売り圧力が強まる展開となりました。

新興国の債券市場は、先進国でインフレ鈍化が見られたことや、多くの新興国で2023年後半にかけて経済成長が減速し、利上げサイクルが終了して今後は利下げに向かうとの観測が高まったことなどを背景に、2023年8月中旬にかけて概ね上昇基調で推移しました。8月後半には、中国で不動産市場を巡る懸念の高まりなどから債券市場の変動性が高まる場面も見られました。その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で高水準の政策金利をより長期に維持する姿勢が示されたことなどから、期末にかけて軟調に推移しました。

日本のリート市場は、日銀の植田新総裁が金融緩和継続姿勢を示したことなどを好感し上昇して始まりました。その後は、国内の長期金利が安定的に推移したことや、Jリークの決算も概ね市場予想通りとなるなど目立った売買材料に乏しく、小幅なレンジでの推移が続きました。2023年8月中旬には国内を含め世界的に長期金利の上昇に一服感が見られたことなどから、上値を試す場面が見られました。しかし期末にかけては、日銀のマイナス金利解除の思惑や、米国での金融引き締め長期化懸念などから、再び長期金利が上昇し下落に転じました。

米国のリート市場は、米国の中堅銀行の経営破綻や連邦政府の債務上限問題などから、2023年5月下旬にかけて下落しました。その後7月下旬にかけては、債務上限問題の解決やインフレ鈍化の兆しを受けて、利上げサイクルが終了に近づいているとの観測が高まり、リートは上昇しました。8月以降は、堅調な経済指標やインフレの高止まりから金融引き締めが長期化するととの見方が広がり、米長期金利が上昇基調を辿る中、リートは再度下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年4月19日～2023年10月18日）

各投資信託証券への配分は、目標とするリスク水準を標準偏差16%程度と設定し、各投資対象資産の長期の期待リターン、相関性等をもとに決定しました。なお、各投資対象資産の投資比率に関しては、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社からの助言を参考にしました。

「日本連続増配成長株マザーファンド」は、連続増配期間の長さ、時価総額、信用リスク、流動性等を考慮し、成長性、バリュエーション等のほか、今後の連続増配の持続可能性を勘案し銘柄の選定を行いました。「シュローダー先進外国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）」は、銘柄選択についてはボトムアップ・アプローチにより実質的な運用を行いました。「GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）」は、定量モデルおよび定性判断を活用したボトムアップ・アプローチに基づき運用を行いました。「国内債券マザーファンド」は、信用リスクを抑え国債中心の運用を行いました。「世界高金利債券マザーファンド」は、北米通貨圏、ヨーロッパ通貨圏、オセアニア通貨圏のソブリン債へ各3分の1程度の割合となるように分散投資を行うとともに、投資対象通貨を複数の通貨に分散することで、金利変動リスクと為替変動リスクの軽減に努めました。「GIM FOF s用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）」は、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用しました。「Jリート・マザーファンド」は、個別銘柄の資産内容や信用力、バリュエーションなどを勘案し、個別銘柄の選定やウェイト付けを行いました。「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド」は、高い配当利回りが期待でき、かつ割安度の観点で魅力的な普通リートへの選別投資に加えて、高い配当利回りが期待できる優先リートへの投資により、利回りの向上を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年4月19日～2023年10月18日）

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

（2023年4月19日～2023年10月18日）

当ファンドは、主として配当等収益と売買益等から分配を行います。当期は、10円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第17期
	2023年4月19日～ 2023年10月18日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.072%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,808

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ラップ・アプローチ（成長コース）>

投資信託証券への投資を通じて、実質的に内外の株式、債券および不動産投資信託証券へ分散投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。目標とするリスク水準を標準偏差16%程度と設定し、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社からの助言を参考に、検討・見直しを行います。

○日本連続増配成長株マザーファンド

国内株式市場は、上昇基調が続くと予想します。堅調な企業業績に加え、増配や自己株式取得など株主還元拡充への期待も高まると考えます。バリュエーション面でも日本株に割高感はないと見ており、政治的な安定性の面からも海外投資家から選好されやすい状況にあると思われれます。当ファンドの運用につきましては、連続増配期間の長さ、時価総額、信用リスク、流動性等を考慮してユニバースを構築し、その中から成長性や連続増配の持続可能性等を勘案しポートフォリオを構築します。個別銘柄については、構造的な需要拡大により成長が期待される企業や、成長性に対して株価指標面での割安感が強まっている銘柄などに注目する方針です。

○シュローダー先進外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

グローバル株式市場は、不透明感の強い状況に直面していると考えます。金融引き締め効果が現れており、企業利益の増加率は鈍化し始めています。コストが高止まりする中、2024年にかけて売上高の鈍化が続くことが予想され、企業利益に一段と下押し圧力がかかると見ています。金融引き締めが継続し、景気サイクルが下降に転じるに伴い、様々な業界で企業倒産が増えることが予想されるため、今後1-3年間で借り換える負債が多く、財務・営業レバレッジが高い企業に対しては慎重な見方を維持しています。当ファンドにつきましては、長期的な視点で企業のファンダメンタルズを分析し“ポジティブ・グロース・ギャップ^{*}”に着目した銘柄選択を行い、地域固有やセクター固有の要因のバランスを維持した運用を継続する方針です。

^{*}グロース・ギャップ：銘柄に対するシュローダーの中長期的な収益予想と市場コンセンサス予想との差異。

○GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）

グローバル経済は底堅さを示しており、新興国経済は2022年後半以降の米ドルの下落傾向や中国の経済活動の再開が追い風になると見えています。また、新興国地域のインフレ率は先んじて低下し、今後利下げの可能性があると考えています。米国の景気後退と世界需要の低迷リスクは依然残るものの、新興国企業は、今後10年間のトレンドとして、脱炭素化や人工知能（AI）進展など変革に伴う設備投資の需要を取り込み、更なる成長が期待されています。当ファンドの運用につきましては、引き続き定量モデルおよび定性判断を活用したボトムアップ中心のアプローチに基づき、収益性・成長性を総合的に勘案して銘柄に投資していく方針です。

○国内債券マザーファンド

国内の債券市場は、徐々に安定した動きとなることを予想します。当面は国内の物価上昇や円安を背景に、日銀が金融政策の正常化を進めると見られ、売りが出やすい状況となることが想定されます。ただ、日本の潜在的な経済成長力を勘案すれば、大幅な金融引き締めは見込み難く、各種物品・サービス等の値上げ一巡による物価上昇の一服や、海外の景気減速を受けた円安の収束等も考えられるため、債券市場は次第に買いが入る展開となり、下支えされると見込んでいます。当ファンドの運用につきましては、投資環境分析、マクロ経済分析、イールドカーブ分析等に基づき、投資銘柄や期間別配分、デュレーションの決定および変更を行い、リスクコントロールを図りながら収益の獲得を目指します。

○世界高金利債券マザーファンド

米国の債券市場は、全般に利回りが低下（債券価格が上昇）すると予想します。これまでの金融引き締めの影響が実体経済に徐々に現れる中で、先行きの景気減速と金融政策の転換を見越した買いが優勢となることを見込んでいます。当ファンドはOECD加盟国のソブリン債（国債、政府保証債等）を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。運用にあたっては、世界を北米通貨圏、ヨーロッパ通貨圏、オセアニア通貨圏に区分し、各通貨圏のソブリン債への投資割合は各々3分の1程度とします。また、各通貨圏において、原則として相対的に高金利のソブリン債の配分を高め、安定的な利息収入の確保を目指します。

○GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）

新興国経済は底堅さを見せており、先進国との経済成長率の差は拡大すると見込まれます。また、新興国のインフレは引き続き減速しており、新興国の中央銀行には利下げ余地があると考えます。短期的なリスクとしては、堅調な米国経済を背景にFRBが金融引き締めに積極的な姿勢を継続することや、更なる金利上昇、中国や欧州連合（EU）の経済活動の頭打ちなどが挙げられます。中国は、財政政策・金融政策を通じて当局が不動産セクターを中心に経済を下支えしており、2024年にかけて安定化すると見えています。当ファンドの運用につきましては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

○Jリート・マザーファンド

日本のリート市場は、当面上値の重い展開が続くものの、下落余地は限定的になると予想します。日銀による金融政策の正常化懸念や米国の金融引き締め長期化観測などから、足元で長期金利が高止まっています。そのため、金利上昇の悪影響が意識されやすいリートは短期的に上値を追いにくい展開が続くと見えています。ただ、不動産価格は高値圏で推移していることや、下落時には利回りを求める資金の流入が期待されるため、下落余地も限定的だと考えます。当ファンドの運用につきましては、個別銘柄の資産内容や信用力、バリュエーションなどを勘案し、個別銘柄の選定やウェイト付けを行います。当面は投資口価格の割安感が強いと考えられる銘柄や物件入替などを通じて成長が期待できる銘柄などを東証の時価総額の構成比に対してオーバーウェイトとする方針です。一方、投資口価格の割安感が乏しいと考えられる銘柄などは、アンダーウェイトとする方針です。

○適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド

米国のリート市場は、ファンダメンタルズは堅調さを維持する一方、マクロ情勢の不透明感や金融不安を背景にボラティリティ（変動率）の高い展開が続く可能性があります。当ファンドの運用につきましては、高い配当利回りが期待でき、かつ割安度のみならず、ディフェンシブ性・財務健全性とのバランスの観点でも魅力的な普通リートへの選別投資に加えて、高い配当利回りが期待できる優先リートへの投資により、利回りの向上を図る方針です。

お知らせ

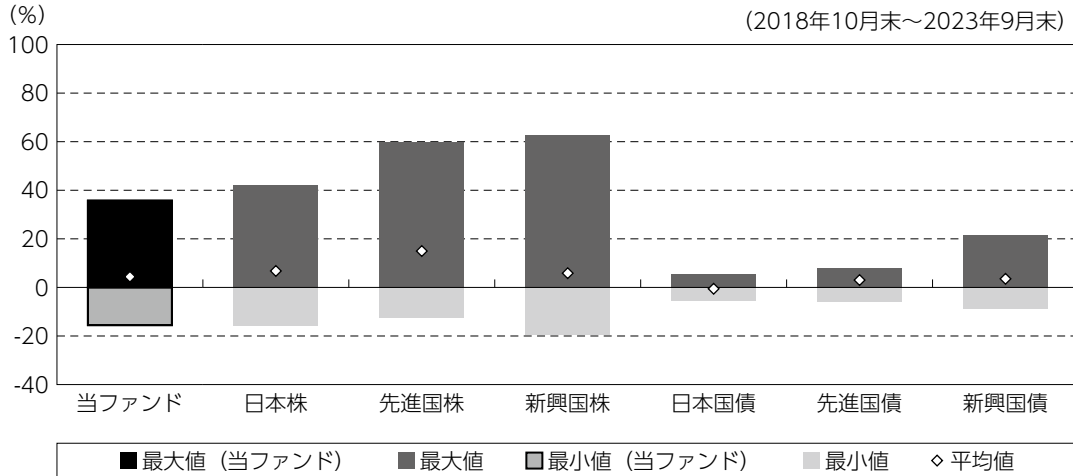
- ・SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2023年7月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2015年4月27日から2035年4月18日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、実質的に内外の株式、債券および不動産投資信託証券を投資対象資産として分散投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 日本連続増配成長株マザーファンド シュローダー先進外国国株式ファンド（適格機関投資家専用） GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用） 国内債券マザーファンド 世界高金利債券マザーファンド GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用） Jリート・マザーファンド 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド ※主要投資対象となる投資信託証券を変更する場合があります。
	日本連続増配成長株マザーファンド	日本の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	シュローダー先進外国国株式ファンド（適格機関投資家専用）	シュローダー外国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界（日本を除く）の株式等を主要投資対象とします。
	GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）	GIMエマージング株式マザーファンド（適格機関投資家専用）受益証券への投資を通じて、世界の新興国で上場または取引されている株式等を主要投資対象とします。
	国内債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	世界高金利債券マザーファンド	OECD加盟国のソブリン債（国債、政府保証債等）を主要投資対象とします。
	GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）	GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドⅡ（適格機関投資家専用）受益証券への投資を通じて、新興国の政府または政府機関の発行する債券等を主要投資対象とします。
	Jリート・マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場している（上場予定を含みます。）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド	アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国（除く日本）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	各投資信託証券への配分は、目標とするリスク水準を設定し、各投資対象資産の長期の期待リターン、相関性等をもとに決定します。 また、各投資信託証券の投資信託財産の純資産総額に対する比率は、上限を80%程度、下限を3%程度とします。各投資対象資産の投資比率に関して、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社から投資助言を受けます。	
分配方針	毎年4月18日および10月18日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、日本連続増配成長株マザーファンド、国内債券マザーファンド、世界高金利債券マザーファンド、Jリート・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 15.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	4.4	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

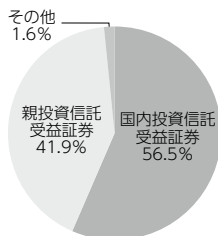
組入資産の内容

(2023年10月18日現在)

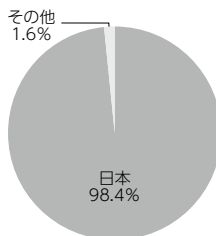
○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末 %
シュローダー先進外国株式ファンド（適格機関投資家専用）	38.6
日本連続増配成長株マザーファンド	25.3
GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）	7.9
世界高金利債券マザーファンド	6.8
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド	5.0
GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）	5.0
Jリート・マザーファンド	4.9
国内債券マザーファンド	4.9
組入銘柄数	8銘柄

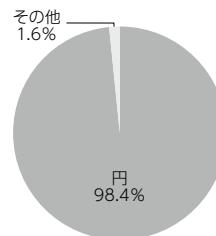
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

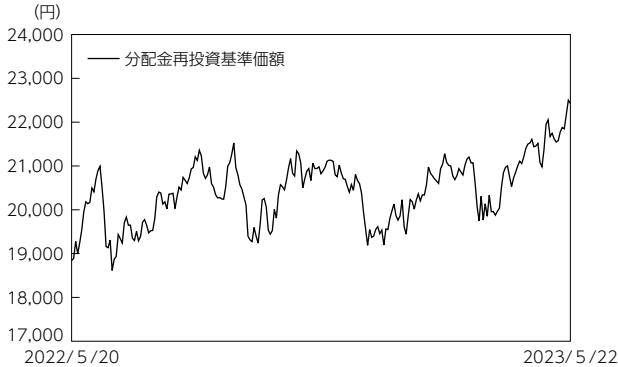
項目	第17期末
	2023年10月18日
純資産総額	1,023,117,518円
受益権総口数	738,159,868口
1万口当たり基準価額	13,860円

(注) 期中における追加設定元本額は29,464,040円、同解約元本額は84,981,050円です。

組入上位ファンドの概要

シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月21日～2023年5月22日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	181 (169) (5) (7)	0.885 (0.830) (0.022) (0.033)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.010 (0.010) (0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.017 (0.017) (0.000)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	10 (7) (3) (0) (0)	0.049 (0.033) (0.014) (0.002) (0.000)
合 計	197	0.961
期中の平均基準価額は、20,411円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

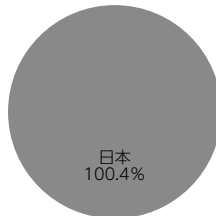
(2023年5月22日現在)

銘 柄 名	第7期末
シュローダー外国株式マザーファンド	% 100.4
組入銘柄数	1銘柄

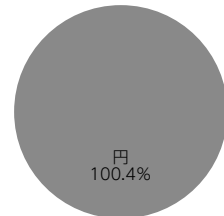
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



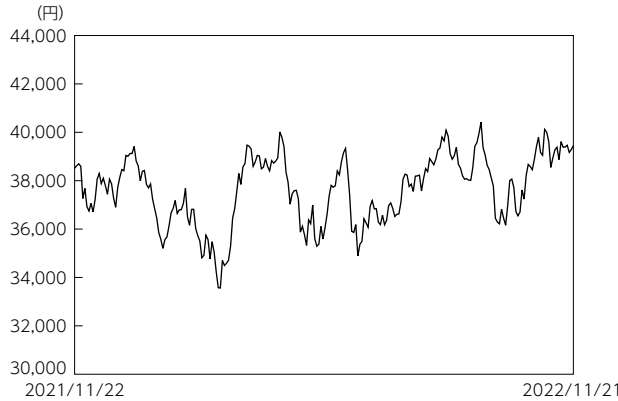
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

参考情報：シュローダー外国株式マザーファンドの組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月23日～2022年11月21日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.011 (0.011) (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	11 (11)	0.030 (0.030)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	14 (14) (0)	0.038 (0.038) (0.000)
合 計	29	0.079

期中の平均基準価額は、37,756円です。

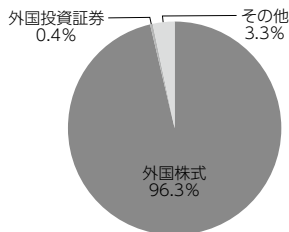
- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

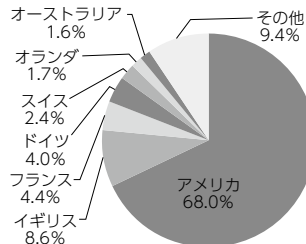
(2022年11月21日現在)

銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地域)	比 率	
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.7%	
2 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.6	
3 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	2.9	
4 AMAZON.COM INC	小売	米ドル	アメリカ	2.1	
5 SHELL PLC	エネルギー	ユーロ	イギリス	1.8	
6 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	1.7	
7 UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	1.7	
8 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.7	
9 CONOCOPHILLIPS	エネルギー	米ドル	アメリカ	1.6	
10 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	1.6	
組入銘柄数		145銘柄			

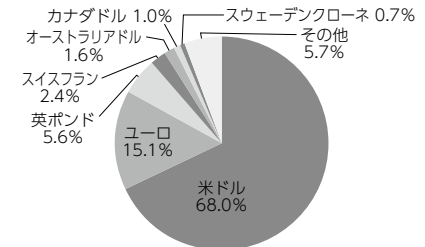
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

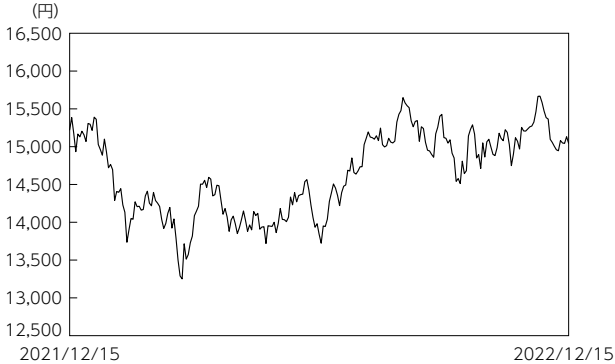


- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
- (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国もしくは投資国（地域）を表示しております。
- (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

日本連続増配成長株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年12月16日～2022年12月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	24 (24)	0.163 (0.163)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	24	0.163

期中の平均基準価額は、14,669円です。

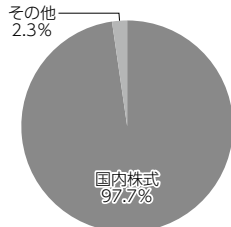
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

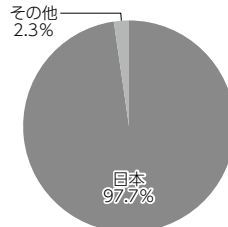
(2022年12月15日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	ニトリホールディングス	小売業	円	日本	4.4
2	ロート製薬	医薬品	円	日本	4.4
3	ワークマン	小売業	円	日本	3.8
4	ショーボンドホールディングス	建設業	円	日本	3.7
5	ユニ・チャーム	化学	円	日本	3.3
6	テルモ	精密機器	円	日本	3.1
7	マニ	精密機器	円	日本	3.1
8	日本酸素ホールディングス	化学	円	日本	2.9
9	ユー・エス・エス	サービス業	円	日本	2.8
10	花王	化学	円	日本	2.7
	組入銘柄数		50銘柄		

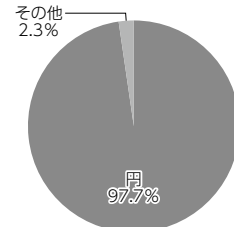
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



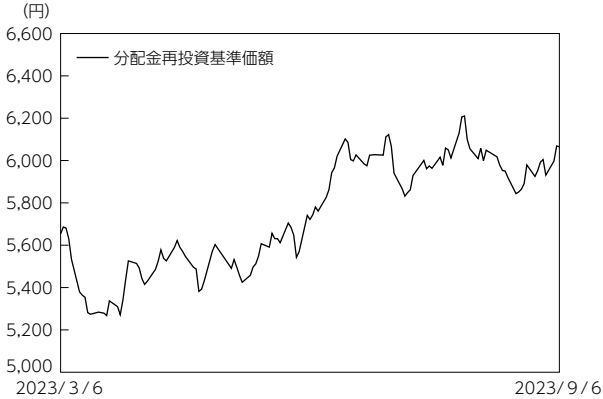
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

G I M エマージング株式ファンド F（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年3月6日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年3月7日～2023年9月6日)

項 目	第66期～第67期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	27 (24) (0) (3)	0.476 (0.415) (0.006) (0.055)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1) (0)	0.023 (0.022) (0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.032 (0.032)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	13 (6) (1) (6)	0.225 (0.107) (0.011) (0.107)
合 計	43	0.756
作成期間中の平均基準価額は、5,778円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

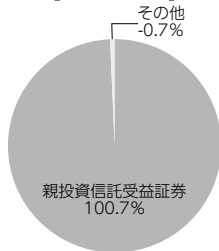
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

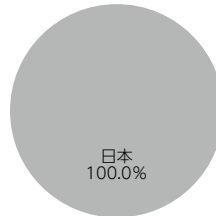
(2023年9月6日)

銘柄名	投資比率
GIMIマーキング株式マザーファンド（適格機関投資家専用）	100.7%
その他	-0.7%
組入銘柄数	1銘柄

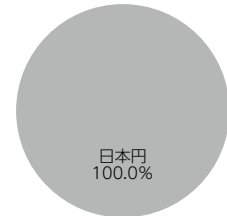
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

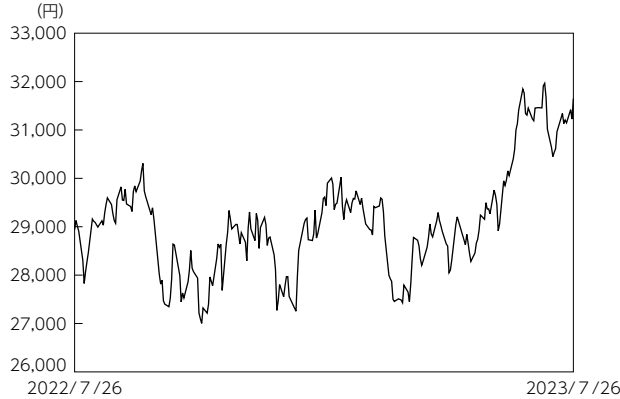
(注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

参考情報：G I Mエマージング株式マザーファンド（適格機関投資家専用）の組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2022年7月27日～2023年7月26日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	16 (16) (0)	0.057 (0.055) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株式)	27 (27)	0.095 (0.095)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	115 (55) (60)	0.398 (0.190) (0.208)
合計	158	0.550
期中の平均基準価額は、28,868円です。		

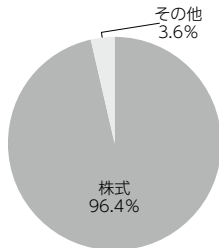
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

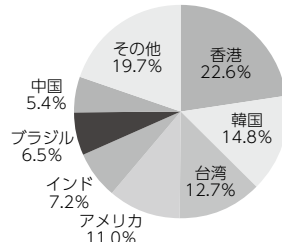
(2023年7月26日)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	8.6%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	6.7%
3	TENCENT HOLDINGS LIMITED	メディア・娯楽	香港ドル	香港	5.7%
4	HDFC BANK LTD-ADR	銀行	米ドル	アメリカ	2.6%
5	MEITUAN-CLASS B	消費者サービス	香港ドル	香港	2.2%
6	SK HYNIX INC	半導体・半導体製造装置	韓国ウォン	韓国	2.1%
7	RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インドルピー	インド	1.9%
8	KIA MOTORS CORPORATION	自動車・自動車部品	韓国ウォン	韓国	1.9%
9	PETROLEO BRASILEIRO SA-PETROBRAS-PR	エネルギー	ブラジルレアル	ブラジル	1.9%
10	LG CHEM LTD	素材	韓国ウォン	韓国	1.9%
組入銘柄数			83銘柄		

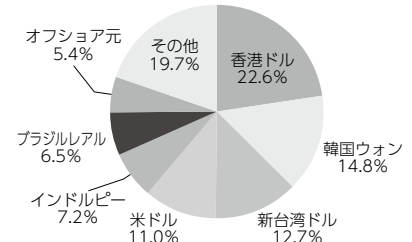
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。
 (注) 国別、通貨別の各配分のその他は、現金・預金・その他資産（負債控除後）を含みます。
 (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

組入上位ファンドの概要

世界高金利債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年4月19日～2023年4月18日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	47	0.362
（ 保 管 費 用 ）	(46)	(0.358)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.004)
合 計	47	0.362

期中の平均基準価額は、12,892円です。

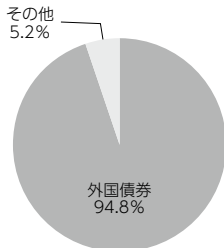
- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

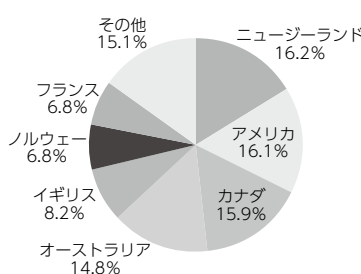
(2023年4月18日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
1	NEW ZEALAND GVT 3.5	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	8.0
2	US TREASURY N/B 3.625	国債証券	米ドル	アメリカ	7.3
3	CANADA-GOV'T 2.5	国債証券	カナダドル	カナダ	6.7
4	AUSTRALIAN GOVT. 4.75	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.0
5	AUSTRALIAN GOVT. 1	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	5.2
6	AUSTRALIAN GOVT. 2.5	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	3.7
7	FRANCE O.A.T. 0	国債証券	ユーロ	フランス	3.6
8	CANADA-GOV'T 1.25	国債証券	カナダドル	カナダ	3.4
9	UK TSY GILT 0.625	国債証券	イギリスポンド	イギリス	3.1
10	NORWEGIAN GOV'T 1.375	国債証券	ノルウェークローネ	ノルウェー	3.1
組入銘柄数			41銘柄		

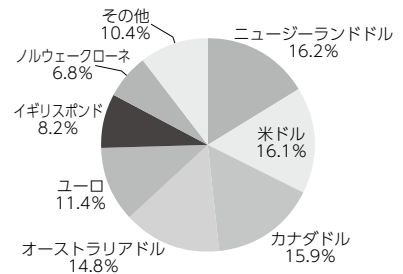
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



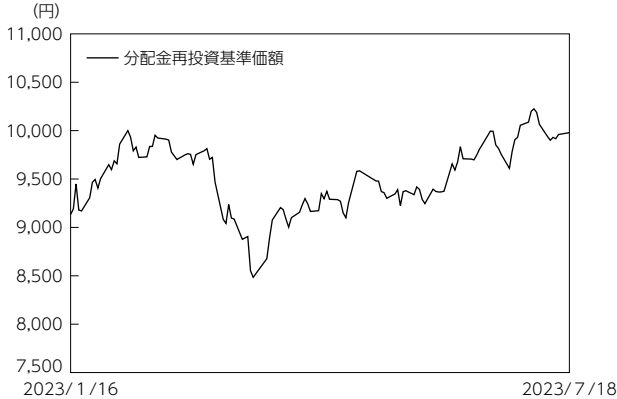
- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 通貨別配分につきましては組入債券の通貨別比率を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年1月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月17日～2023年7月18日)

項 目	第116期～第121期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 託 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	32 (30) (1) (2)	0.342 (0.314) (0.006) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	2 (2)	0.019 (0.019)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.004 (0.004)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0) (0)	0.004 (0.003) (0.001) (0.000)
合 計	34	0.369

作成期間中の平均基準価額は、9,443円です。

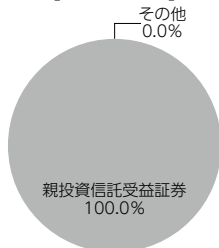
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

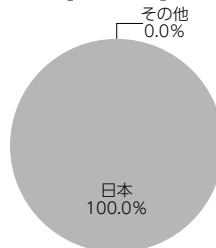
(2023年7月18日現在)

銘 柄 名	第121期末
アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

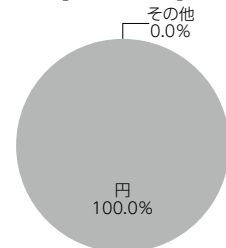
【資産別配分】



【国別配分】

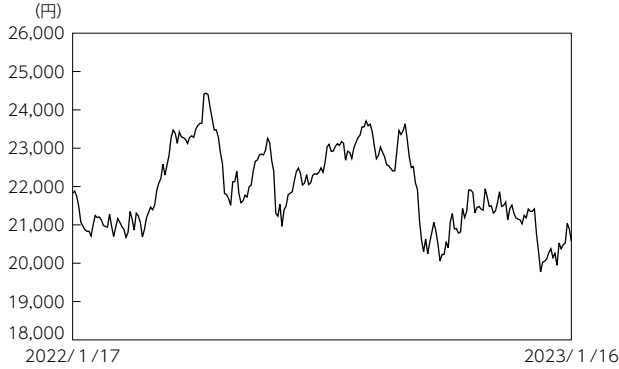


【通貨別配分】



参考情報：アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・マザーファンドの組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月18日～2023年1月16日)

項 目	期	
	当 金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	12 (12)	0.054 (0.054)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	6 (6)	0.028 (0.028)
(c) その他費用 (その管の他)	2 (2)	0.007 (0.007)
(その他)	(0)	(0.000)
合 計	20	0.089

期中の平均基準価額は、21,982円です。

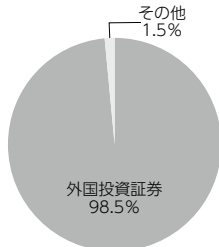
- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書 (全体版) をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

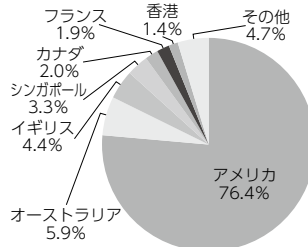
(2023年1月16日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地域)	比 率
1	PROLOGIS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	5.2
2	EQUITY RESIDENTIAL	投資証券	米ドル	アメリカ	3.1
3	VICI PROPERTIES INC	投資証券	米ドル	アメリカ	3.1
4	SUN COMMUNITIES INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.5
5	REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.5
6	CUBESMART	投資証券	米ドル	アメリカ	2.4
7	WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.2
8	UDR INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.2
9	CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	2.2
10	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.1
組入銘柄数			105銘柄		

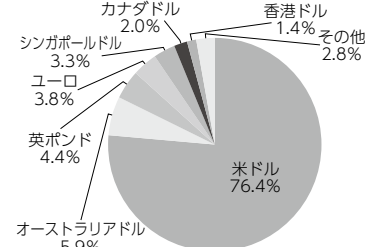
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国 (地域) および国別配分につきましては発行国を表示しております。

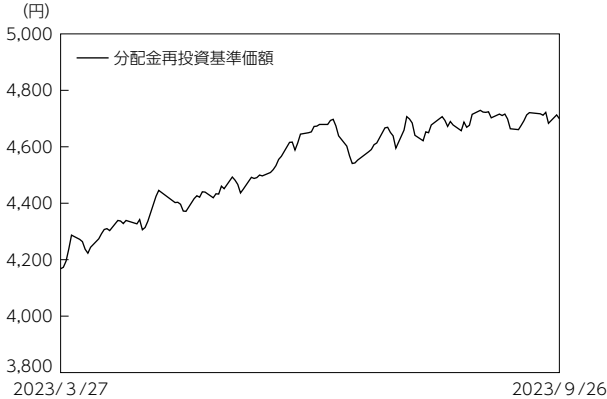
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

GIMFOFs 用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年3月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年3月28日～2023年9月26日)

項目	第189期～第194期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会) (会 社)	18 (17) (0) (1)	0.407 (0.385) (0.005) (0.016)
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他の費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	8 (7) (0) (1)	0.176 (0.145) (0.011) (0.020)
合 計	26	0.583

作成期間中の平均基準価額は、4,482円です。

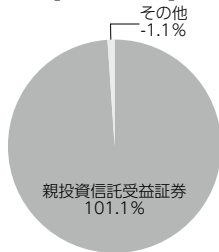
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

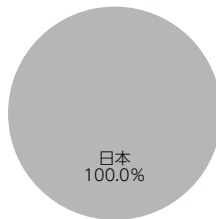
(2023年9月26日)

銘柄名	投資比率
GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドII（適格機関投資家専用）	101.1%
その他	-1.1%
組入銘柄数	1銘柄

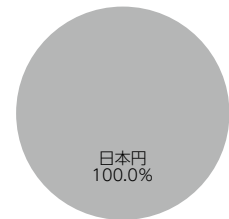
【資産別配分】



【国別配分】



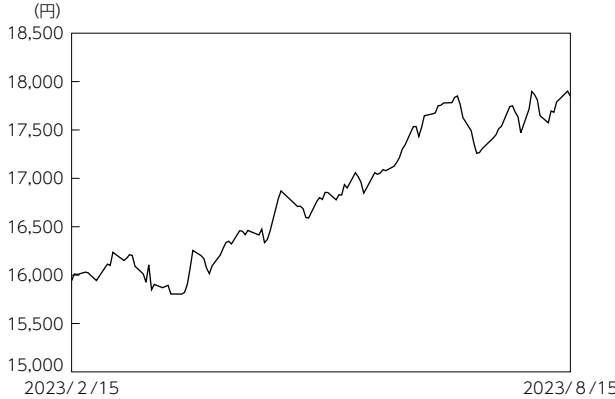
【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
- (注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。
- (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
- (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

参考情報：G I M新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドⅡ (適格機関投資家専用) の組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2023年2月16日～2023年8月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)
(b) その他費用 (保管費用)	23 (20)	0.139 (0.118)
(その他)	(4)	(0.021)
合計	23	0.139

期中の平均基準価額は、16,879円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書 (全体版) をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

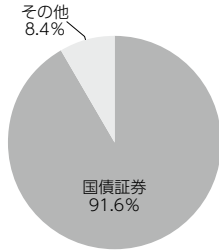
【組入上位10銘柄】

(2023年8月15日)

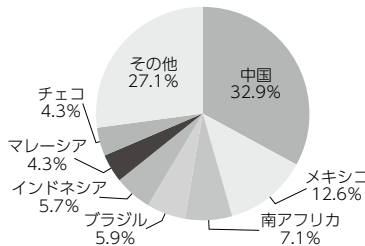
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1 CHINA GOVT2.85%JUN27INBK	国債証券	オフショア元	中国	8.7%
2 MEXICO GOVT 7.5% MAY33	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	4.7%
3 CHINA GOVT2.68%MAY30INBK	国債証券	オフショア元	中国	4.6%
4 CHINA GOVT3.27%NOV30INBK	国債証券	オフショア元	中国	4.5%
5 BRAZIL 10% JAN27 NTNFB	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	4.2%
6 CHINAGOVT2.76%MAY32 INBK	国債証券	オフショア元	中国	4.0%
7 POLAND 7.5% JUL28 0728	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	3.2%
8 CHINA GOVT3.81%SEP50INBK	国債証券	オフショア元	中国	2.4%
9 CHINAGOVT2.64%JAN28 INBK	国債証券	オフショア元	中国	2.4%
10 IMEXICO GOVT 8.5% MAY29	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	2.4%
組入銘柄数		76銘柄		

(注) 先物取引は上記の対象としておりません。

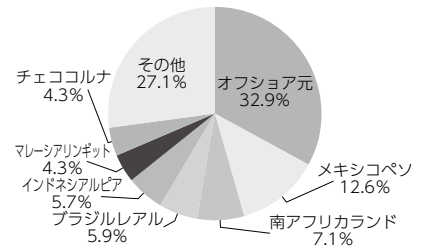
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

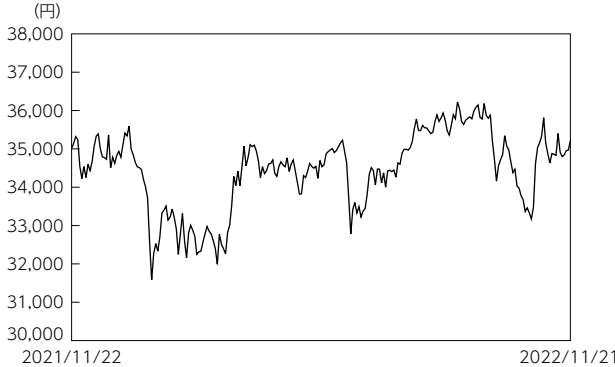


- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産 (負債控除後) です。
 (注) 国別、通貨別の各配分のその他は、現金・預金・その他資産 (負債控除後) を含みます。
 (注) 国 (地域) および国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

組入上位ファンドの概要

Jリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月23日～2022年11月21日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	58 (58)	0.167 (0.167)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	58	0.167

期中の平均基準価額は、34,652円です。

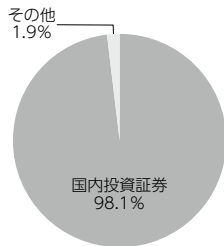
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

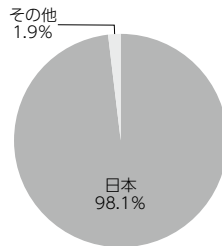
(2022年11月21日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	日本ビルファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.1%
2	GLP投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.9%
3	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.6%
4	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.6%
5	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.6%
6	大和ハウスリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.4%
7	日本都市ファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.1%
8	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.8%
9	アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.4%
10	ケネディクス・オフィス投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.2%
	組入銘柄数		54銘柄		

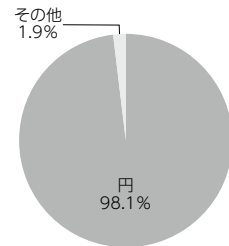
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



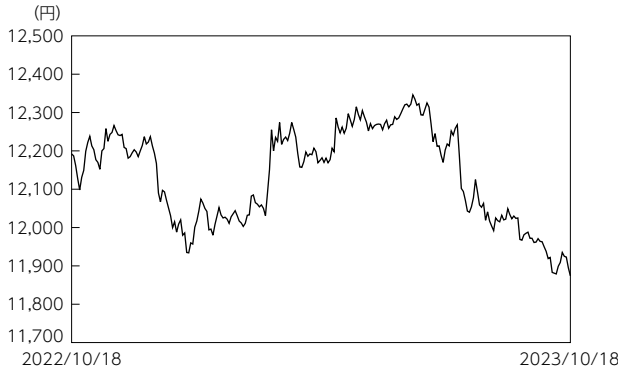
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

国内債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月19日～2023年10月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、12,137円です。

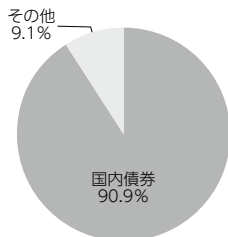
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

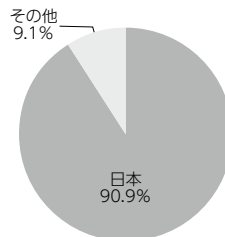
(2023年10月18日現在)

銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1 第146回利付国債（5年）	国債証券	円	日本	12.7%
2 第76回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	9.3
3 第105回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	8.3
4 第151回利付国債（5年）	国債証券	円	日本	7.6
5 第150回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	6.7
6 第338回利付国債（10年）	国債証券	円	日本	5.9
7 第123回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.6
8 第98回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.4
9 第154回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.2
10 第182回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	4.7
組入銘柄数		17銘柄		

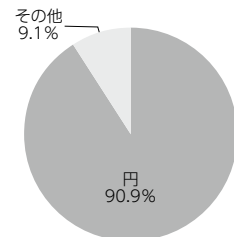
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。